



誰もが安心して暮らせる社会の実現のため 市役所にベトナム語とインドネシア語の翻訳者を配置します。

インドネシア語は
県内市町村初！

国籍にかかわらず誰もが安心して元気に暮らせる社会の実現のため、2024年4月より新たにベトナム語・インドネシア語の翻訳者を各1名ずつ配置します。

これまでのポルトガル語、タガログ語、英語と合わせると、5言語のネイティブスタッフによる情報発信が可能となります。

◇豊橋市の外国人市民

令和6年2月末現在、80か国、20,922人※1の外国人市民が暮らしています。国籍別では以下のとおりです。

※1 県内では名古屋市に次いで、中核市では川口市に次いで、2番目に多く外国人市民が暮らす。

| 順位 | 国籍 | 人口（人） | 1年前からの増加率（%） |
|----|----------|-------|--------------|
| 1 | ブラジル | 8,811 | 3.2 |
| 2 | フィリピン | 4,822 | 7.7 |
| 3 | ベトナム※2 | 1,599 | 13.9 |
| 4 | 中国 | 1,185 | 0.3 |
| 5 | 韓国・朝鮮 | 1,105 | △3.6 |
| 6 | インドネシア※2 | 932 | 43.2 |

※2 在留資格の内訳で見ると、技能実習、特定技能が多くを占める。

ポイント① 外国人市民の母語の約8割をカバー



外国人市民の皆様へのお知らせ文書や、豊橋市多文化共生・国際課 Facebookでの多言語対応数が5言語となり、外国人市民の母語の約8割をカバーできるようになります。なお、5言語以外を母語とする方々に対しては、「やさしい日本語」による情報発信を引き続き実施します。

ポイント② 豊橋市国際交流協会内 外国人総合相談窓口のサービス拡充

豊橋市が豊橋市国際交流協会へ委託している外国人総合相談窓口（インフォピア）でも新たにベトナム語通訳・翻訳者を1名配置します。

これにより、英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、ベトナム語の5言語が対応可能となります。

【問い合わせ先】

多文化共生・国際課 課長補佐 白藤 ☎0532-51-2054